

1 公共施設等マネジメントとは

公共施設等マネジメント

時代に即した公共施設等サービスとは何かを考え続けながら、公共施設等の最適利活用を図ることを目指し、**公共施設等を経営的視点で「マネジメント」（＝管理、活用）する取組。**

2 なぜ公共施設等マネジメントが必要か

1 社会状況等の変化への対応

社会状況等の変化

ニーズの多様化・複雑化

デジタル技術の発展

生活スタイルや価値観の変容

民間サービスの充実

人口構造の変化

災害の激甚化・気候変動

社会状況等の変化により、
時代に即した公共施設等サービスは都度変化

社会状況等の変化を踏まえつつ、時代に即した公共施設等サービスのあり方を捉えて最適化を図る。

2 財政的課題への対応

更新等経費の負担

- 公共施設等の老朽化の進行により、今後、一斉に更新等が必要な時期を迎える
- 全ての公共施設等を現状のまま維持・更新することは、莫大な財政負担を伴うため、現在の区の財政規模を踏まえると不可能（試算結果を踏まえても明らか）

施設更新等に使える予算には制約がある中、持続可能な行財政運営の実現を見据えて最適化を図る。

（参考）試算結果



3 公共施設等マネジメントの目指す姿

目指す姿

社会状況等の変化、財政的課題に対応し、2つの「最適化」が実現されている姿

2つの最適化

1. 区有資産全体を捉えたうえで、管理や利活用といった各取組が例外なく最適化されている（**全体最適**）。
2. 現時点のみならず、将来世代に課題や負担を先送りすることのないよう長期的な視点で最適化されている（**長期最適**）。



5 公共施設等マネジメントの推進体制

方針等策定や総合調整を担う部門、方針等を踏まえて具体的検討や最適化を実施する事業所管が綿密に連携する体制を構築し、公共施設等マネジメントを効果的・効率的に推進する。

4 公共施設等マネジメントの基本的な考え方

1 施設サービスの最適化（配置・総量の最適化）

施設として必要な機能を必要な量、必要な場所に配置。ニーズやコストを把握し、公共施設等サービスの総量最適化を図る。

2 施設サービスの最適化（提供方法・提供主体の最適化）

新規・既存サービスを問わずサービスの質の向上や財政負担軽減を見据えた検討を徹底。

3 安全性・快適性の確保

予防保全的視点での計画的な修繕・維持管理の実施、ランニングコストの適切なコントロール、持続可能な業務執行体制の実現等を図る。

4 経営的視点での資産活用

前例にとらわれない柔軟な発想で、経営的視点をもって公共施設等や区有地の最適活用を図る。

6 区有施設見直し方針等の改定

- 公共施設等マネジメントの推進に向けて、令和8年度に区有施設見直し方針等を改定
- 区民参画の取組を実施（区民アンケート調査の実施、意見交換会の開催等）
- 道路・橋梁・公園といったインフラ施設を含めた計画体系を整理

改定検討スケジュール（予定）

